

#### シリーズ

### 豊中駅前の歴史を振り返る

#### 第13回 豊中グラウンド

このシリーズは、豊中駅前がどのように形成され、変遷を重ねてきたかを振り返り、これからのまちづくりに活かしたいと考え企画しました。

今回も前回に引き続き、豊中連合自治会会長の中右さんにお話を伺いました

——— この2月に「豊中グラウンド」の事が新聞に掲載していましたが、高校野球とラグビーの発祥地とは知っていましたが、サッカーまでもとは驚きました。

【中右氏】箕面有馬電気軌道(株)は、社名の通り、「箕面の滝」「有馬温泉」や北摂の歴史的な寺院仏閣のある集落をつなぐ「遊覧電車の経営」と風光絶景の沿線の「住宅地経営」を目的に開業しましたが、もう一つの乗客の誘致策として、「スポーツ振興」に目をつけて、豊中には運動場を設置しました、その運営を新聞社や運動具店に協力を求め、野球だけでなくあらゆるスポーツが行われるように構想していたようです。

——— 大正2年(1913)に豊中駅と同じ年に設置されていますね。

【中右氏】駅が開設されるや、早速、関西の中学校を集めた「関西学生聯合野球大会」やワシントン大学を招聘して、明治大学・早稲田大学が対戦した「日米大野球戦」、それに「日本オリンピック」などが次々に開催された事が同社のPR誌「山谷水態」に記載されています。

特に人気の高かった中等学校野球大会は、2年後の大正4年に朝日新聞社主催「全国中等学校優勝野球大会」(現;全国高等学校野球大会)として拡大され、翌年にも第2回が行われたので“豊中”の名は全国に知れ渡ることになったわけです。

赤レンガの外壁に囲まれたグラウンドは2万平方メートルと広く、当時としては日本一の設備を誇ったそ

うです。その赤レンガが今も住宅に利用されて、当時の面影を残しています。ご承知の通り、1988年第60回大会を記念してつくられた“球史ここに始まる”と記されたレリーフが貼り込まれた「メモリアルパーク」は玉井町3丁目にあります。

——— 豊中駅の人工工場にはラグビー発祥のモニュメントがありますね。

【中右氏】大正7年(1918)1月12日、「第1回日本フットボール優勝大会」が開催されました。参加チームが少ないため、ラグビーの試合とサッカーの試合を同時にやっていたそうです。その当時はどちらも大変珍しいものだったのでしょうね。

——— 「全国中等学校優勝野球大会」は当時大阪では野球がたいへんな人で、たくさんのお客が詰めかけました。けれどもお客があまりに多かったので収容しきれず、第3回大会からは、会場は西宮の鳴尾球場に移されることになりました」と豊中市のホームページにありました。そして、その豊中グラウンドが大正末期には無くなってしまうのですが・・・

【中右氏】そうですね。豊中駅周辺の住宅分譲は、大正3年、現在の玉井町から始まっていましたが、この年の8月に同社にとって大変な事態が起きました。

——— そのお話は次回に伺いたいと思います。今日は有り難うございました。



高校野球メモリアルパーク  
豊中市玉井町3丁目3-1

中右吉信氏：昭和8年生まれ  
豊中連合自治会 会長、  
イトレ豊中管理組 組長 理事

シリーズ「豊中駅前の歴史を振り返る」は①Vol.8②Vol.10は松浦幸夫氏 ③Vol.12は辻本<に>子氏 ④Vol.14は村中勇夫氏 ⑤Vol.16⑥Vol.18は辻本龍男氏 ⑦Vol.20⑧Vol.22は山本氏・土橋氏 ⑨Vol.24は土橋氏 ⑩Vol.26は山本氏 ⑪Vol.29は土橋氏 ⑫Vol.31は中右氏にお話をうかがいました。 ※ バックナンバーはお問い合わせください。(06-6858-6190)

「まちづくりニュース」は当社ホームページで第1号から最新号までご覧いただけます。「豊中の歴史を振り返る」も掲載していますのでご覧ください。 <http://www.tmconet.com/>

#### 第26回

## アイボリー・フォーラム

主催：豊中駅前まちづくり会社

講師：特定非営利活動法人  
市民活動情報センター 代表理事

今瀬 政司氏

日時：2010年4月20日(火)  
午後6時30分～

場所：ホテルアイボリー  
参加費用：1,000円 高中小学  
500円

次回予定：「公共事業と価値観の変革」 / 早川克典氏(元・大阪府港湾局長) 5月18日(火)午後6時30分

テーマ

## NPOと自治と協働

～市民主権・地域主権の

確立をめざして～

参加ご希望の方は  
事前にお申し込みください

参加申し込み：  
豊中駅前まちづくり会社  
(06-6858-6190)